

ブラックシャークⅢ50 組立説明書



このたびは、ブラックホビープロダクトの製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

ブラックシャークⅢ50はブラックシャークⅢをベースに、50クラスエンジンヘリコプターのF3C競技用として開発されたものです、静演技及び動演技の性能を追及し、飛行テストを行った結果生まれたトータルバランスの優れた純競技用ボディです。各社50クラスの機体が搭載可能、また、メンテナンス性のよいボディ構成に仕上がりました。組立は本説明書を参考に、できるだけ軽量に仕上げる事が性能を引き出す上で重要なポイントとなります。十分注意して製作を行ってください。

※本説明書はHIROBO製シャトルスカディ50搭載を例にしております。また、必要な別売品はHIROBO製パーツNoをあわせて表記してありますので参考にしてください。

製作のポイント

ボディの加工について

- 冷却用穴及びマスト穴はホットナイフや、リューター等で切断し、ヤスリ及びサンドペーパーで、仕上げます。

ボディの補強について

- 付属のグラスマットは、ステー取付部分やフレームのマウント部など、ボディに力の加わる箇所を補強するために使用します、市販のFRP用ポリエステル樹脂を使用し、ボディに貼り付けます。

水平尾翼の取り付けについて

- 水平尾翼は、バルサ材等（別途購入してください）を使用し、カーボンシャフト（カンザシ）固定穴とボディ固定面を作成してください。
- 水平尾翼左右の結合及び固定は、塗装後に、付属のカーボンロットと両面テープで固定すると、角度が自由に調整できます。

塗装のポイント

塗装前の下地処理について **注意**

- このボディは、飛行性能をひき出すために、非常に軽く仕上がっています。必要以上にサンディングすると、ピンホールの原因になりますので注意して製作して下さい。

塗料について

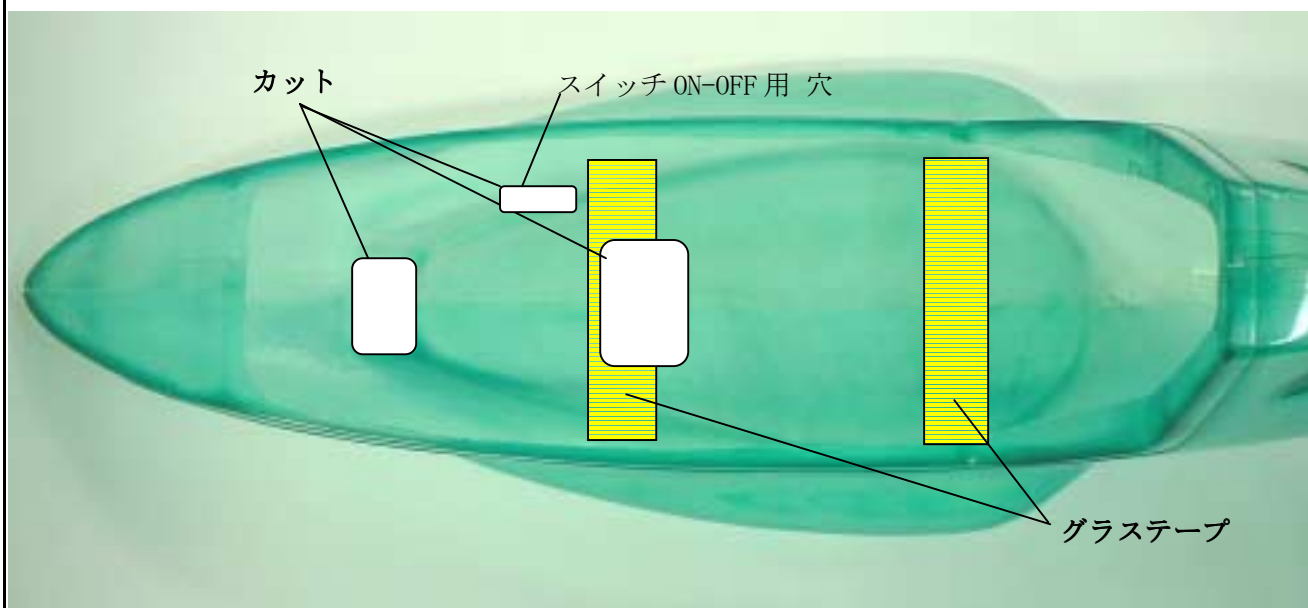
- 市販のウレタン塗料で塗装をして下さい。 ※軽く仕上げる事が重要です。

その他注意事項

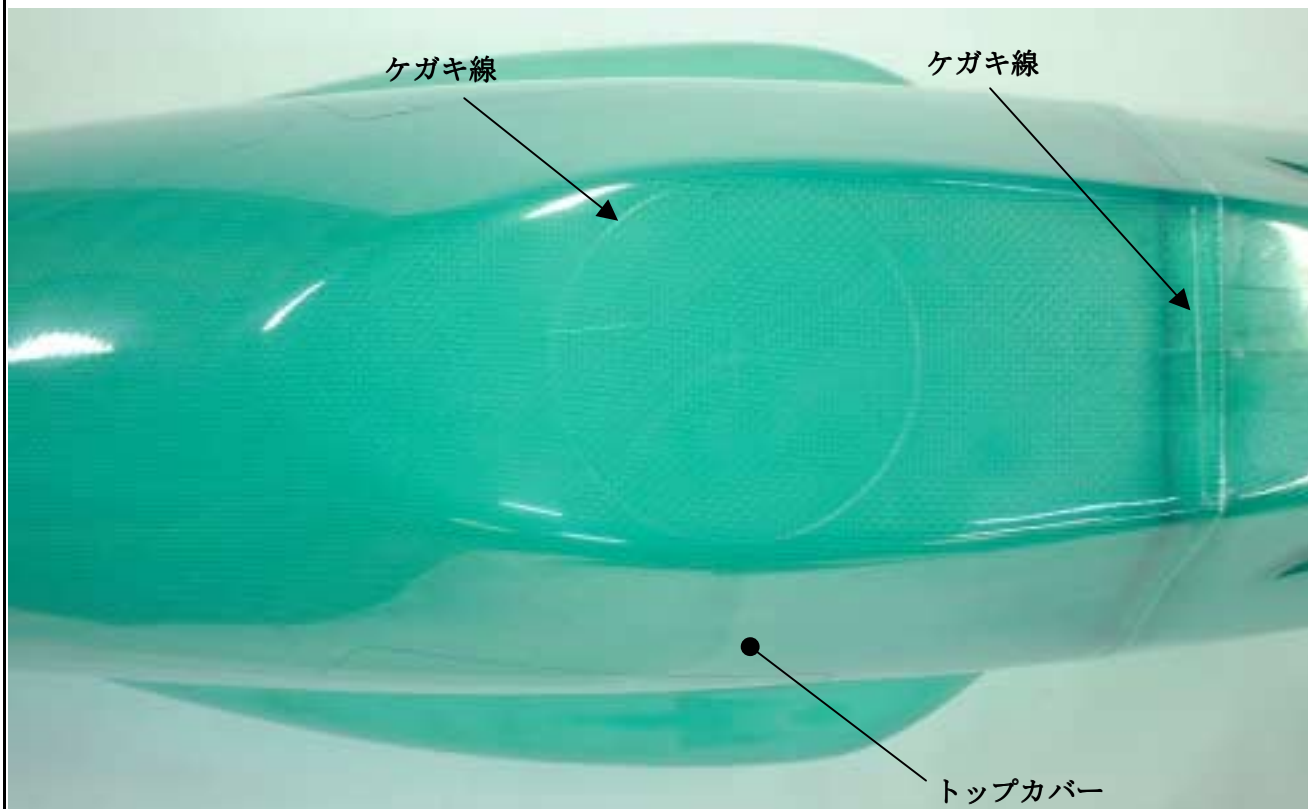
グラスボディは温度変化に敏感です。高温多湿の場所は避けて保管してください。

1. ボディの加工

フレームマウント部分の補強に、付属のグラステープを市販のFRP用ポリエステル樹脂またはエポキシ接着剤で接着します。その後、搭載する機体のフレームを仮組みし、エンジン冷却用穴・エアインテーク穴・排気口などをあけます。



トップカバーはケガキ線を目安に、ボディにあわせて外形をカットし整えます。
また、マスト穴はケガキ線を目安にカットします。



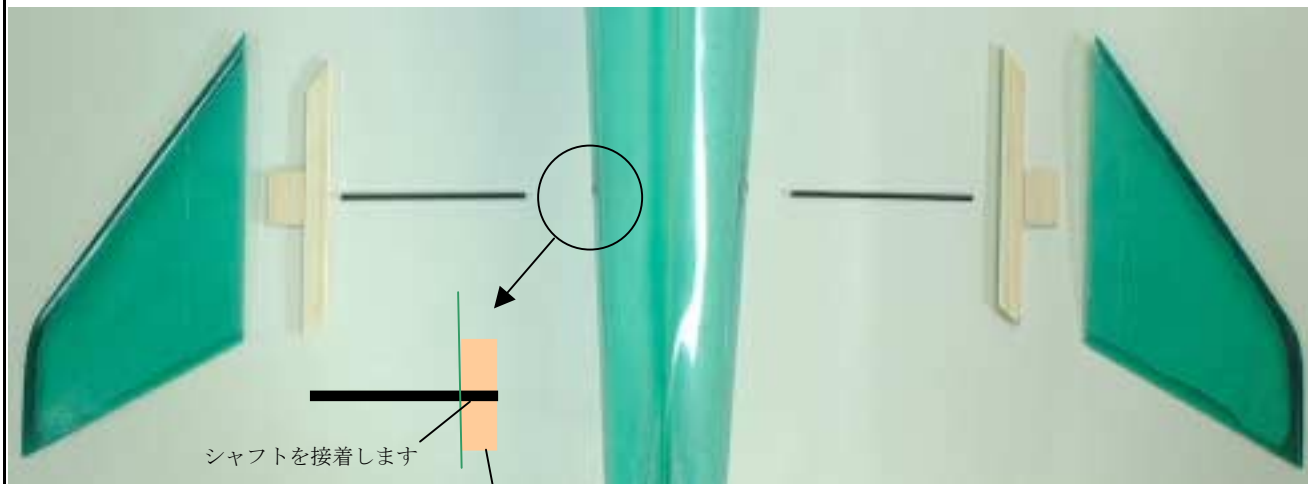
トップカバーとボディ本体は、市販のビスおよびナットを使用して固定します。

2. 水平尾翼の加工と取付

水平尾翼はケガキ線に沿ってカットします。その後、市販のバルサ材を使用し下図の様に水平尾翼の内側端面にエポキシ接着剤で接着します。カーボンシャフトは約 50mm にカットして使用します。水平尾翼とボディ（バルサの貼付してある部分）に穴をあけ、カーボンシャフトを差し込んで接着します。このとき尾翼はテールローターに接触しない位置に取り付けてください。

※ 先に $\phi 1.5 \sim 2\text{mm}$ 程度の穴を空けて、ピアノ線等を通して穴が水平に空いている事を確認しながら $\phi 3$ に広げるとよいでしょう。

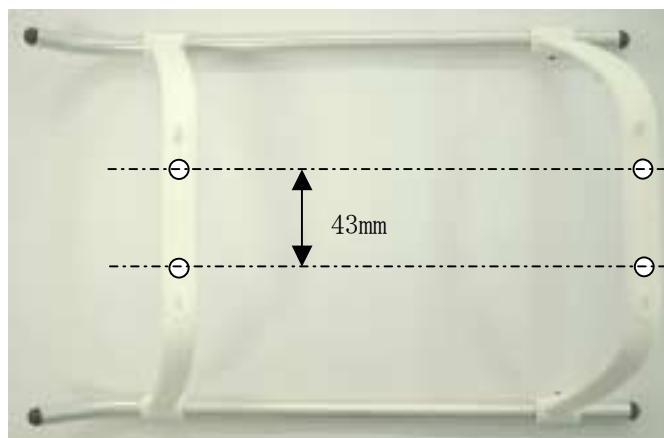
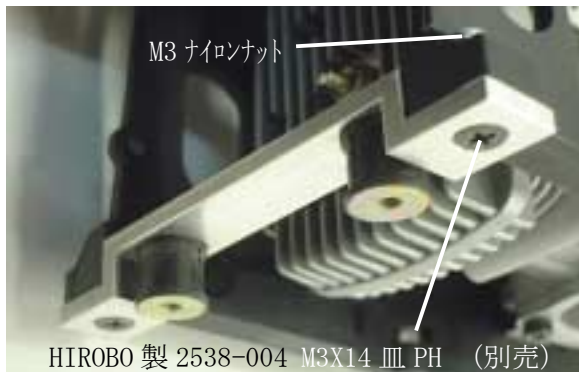
水平尾翼はカーボンロッドに差し、端面を両面テープで固定すると角度が自由に調整できます



ボディ内側にバルサ貼付済（左右）

3. フレームマウントの取付

HIROBO 製 0404-701 EX フォーテック®ゴムを使用して、写真のように組立・取付します。



スキッドに取付用の穴をあけておきます。

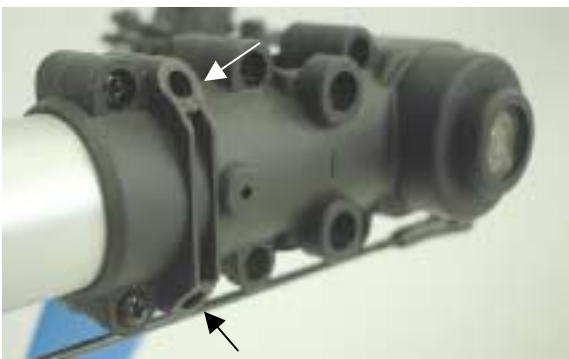
4. 機体搭載の準備

あらかじめローターヘッド・スキッド・テールケースを外しておきます。

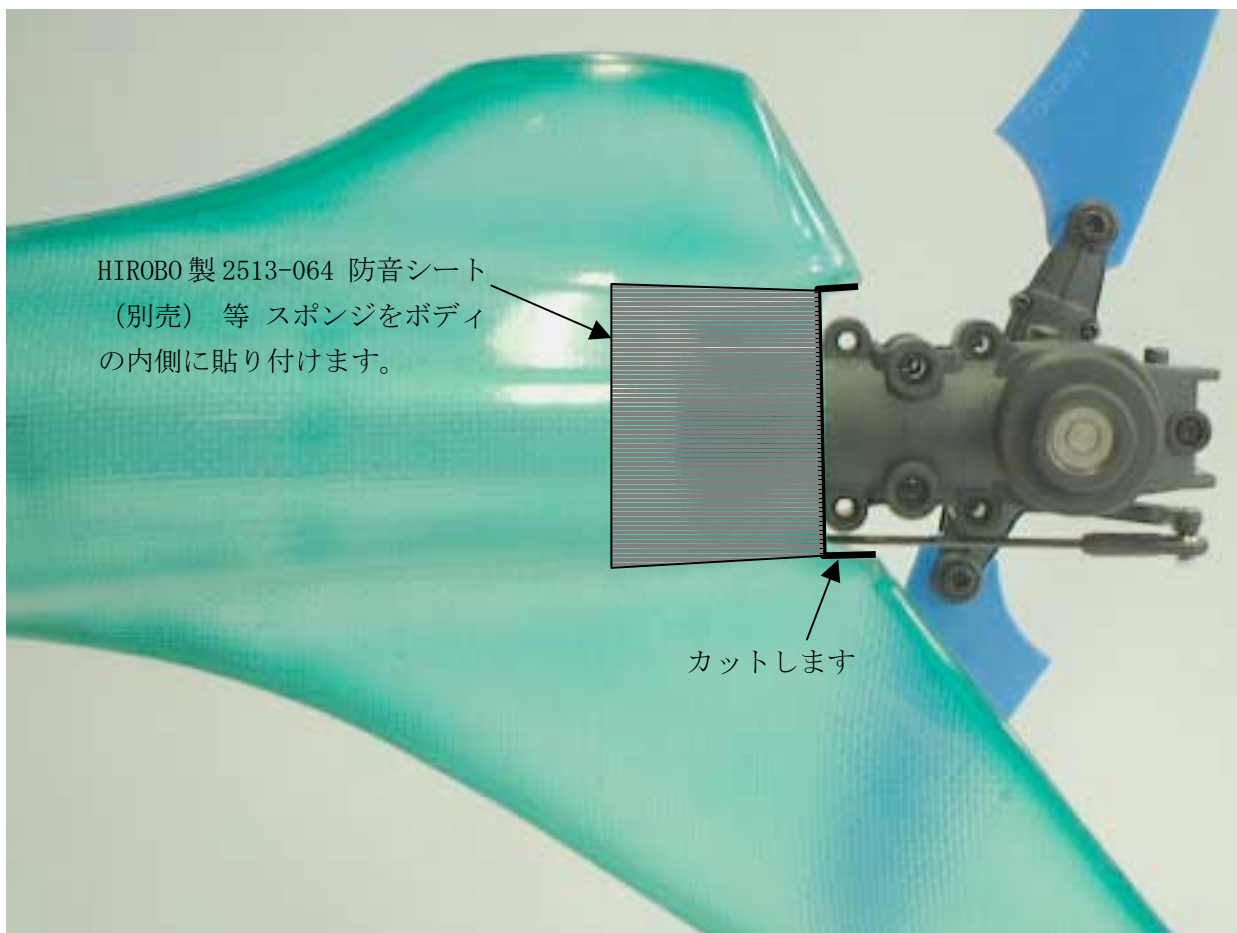


(1) 水平尾翼バンドを写真のように加工し、機体に取り付けます。

4~5mm



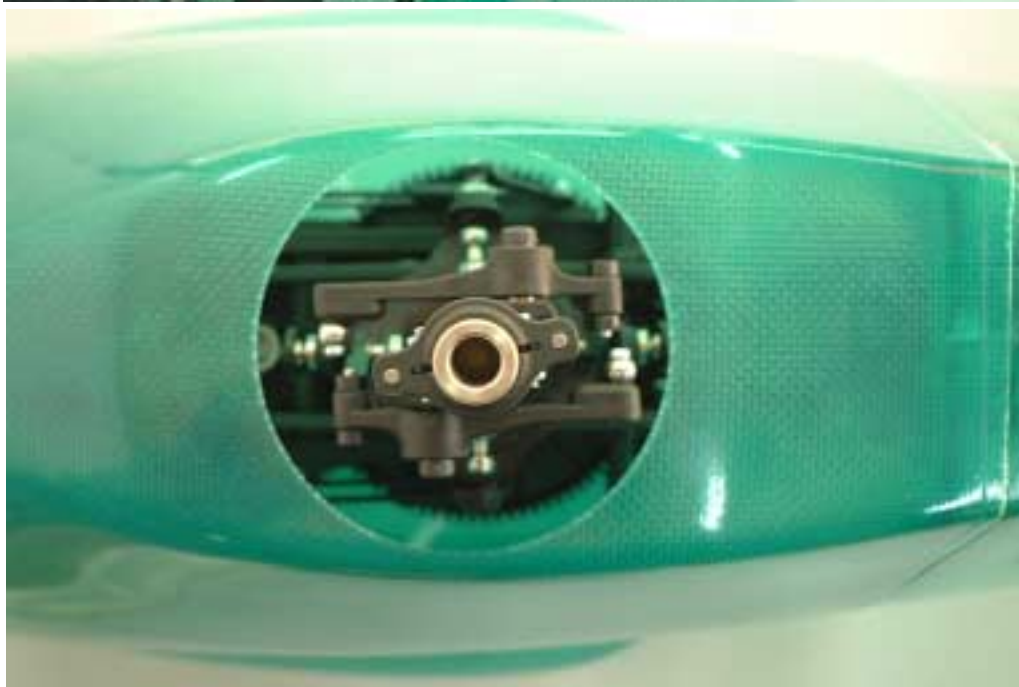
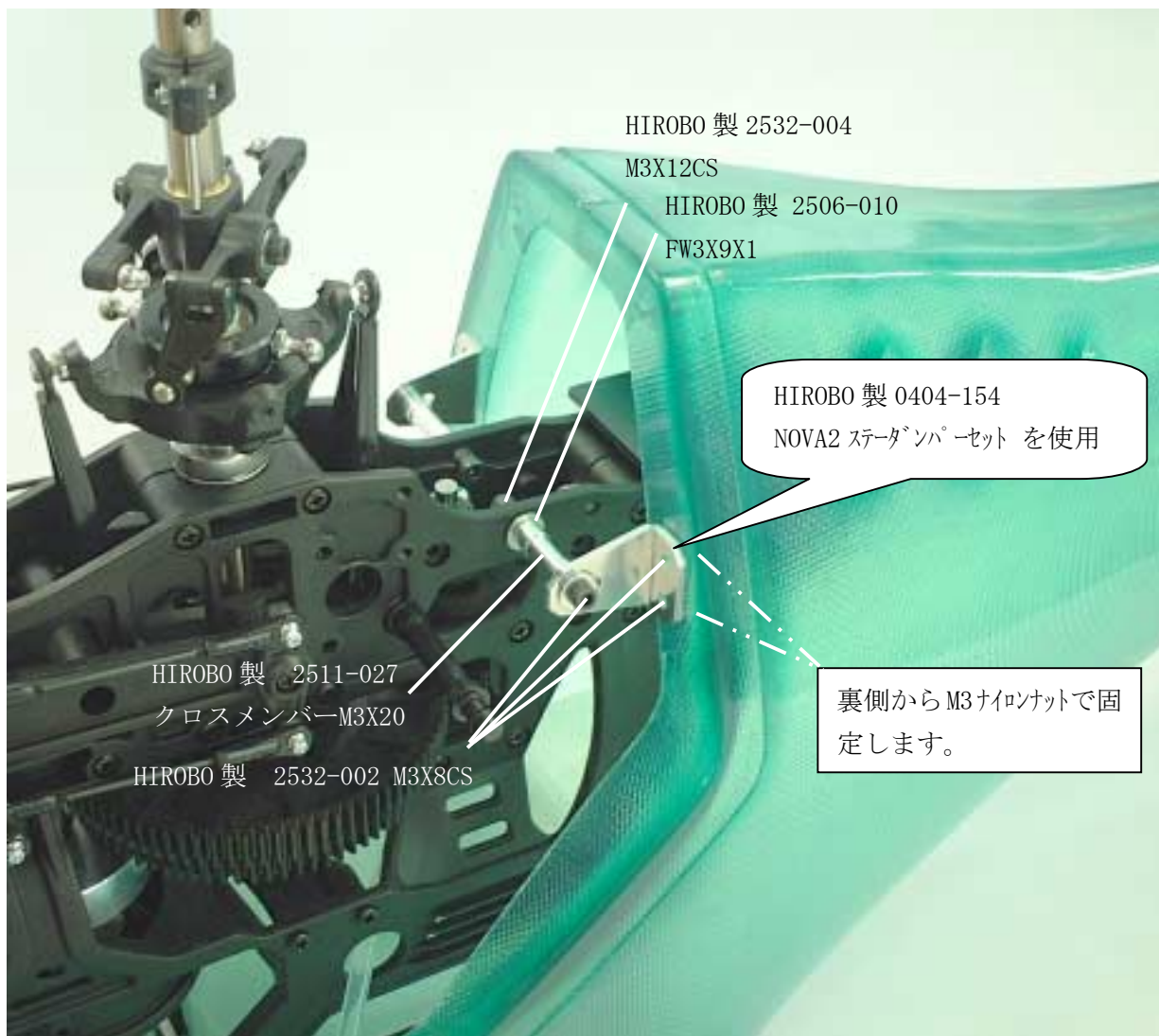
(2) テールケースの写真の部分をカットします。



5. 機体の搭載

機体をボディに入れます。機体上部はステーを使いボディに固定します。

また、機体下部をネジ止めします。※下記ステー・ネジ・ワッシャ・クロスメンバーは別売です。



6. 塗装

組立が完了したら、再度機体を外し、ボディ全体を塗装してください。

